



大原台

〒891-1393 鹿児島市宮之浦町862

TEL:099-294-2311

FAX:099-294-2309

http://www.edu.pref.kagoshima.jp/



24時間子供SOSダイヤル

0120-0-78310 (全国統一フリーダイヤル)

かごしま教育ホットライン24

0120-783-574 (固定電話専用フリーダイヤル)

099-294-2200 (通話料有料)



「新聞雑感」

県総合教育センター

次長兼研修部長 時任 恵美

平成五年。特別支援学校の自立活動を担当していた私は、夏休みの終盤、新聞を使った教材を作成した。聴覚に障害のある子供たちは、耳から聞こえた言葉を自然に覚えて使えるようになることが難しく、教師が意図して常に新しい言葉を取り扱うことが求められる。大きな出来事の翌日は新聞記事を見せ、できるだけ子供たちが言葉に触れる機会を作った。

二期最初の授業は、夏休みを振り返り、自分の体験を発表したり感想を述べ合ったり。その年の夏は、後に八・六水害と呼ばれる大きな災害が起き、新聞には連日大きな見出しが載っていた。土砂崩れ、氾濫、断水、停電などなど。写真入りの記事は幼児児童にも分かりやすいはずと、張り切って多くの切り抜きを準備した。今、振り返ると、子供たちの興味・関心を引くことはできたが、「主体的・対話的で深い学び」からは遠かったなあと反省する。

「子供たち自身に記事を選ばせたら良かった」「もつと子供たち同士で話し合わせたら良かった」「自分の言葉で書く活動を取り入れたら良かった」「地図やグラフ、表なども示したら良かった」ところで、十年ほど前に若い先生たちが新聞を購入していないと知ったときの驚き。彼らはネットでニュースを見ているという。電子版の購読も勧められていたが、アナログの自分を振り返りつつ、活字としての新聞の意義を考えている。

格差社会の影響もあるのか家庭の新聞購読数も減少している。対して、ほとんどの学校図書館には新聞が置いてある。NIEの実践校になると、全学級数分の新聞が提供されるということだ。子供たちが将来、新聞を楽しみ、充実した余暇を過ごす習慣を今、学校で身に付けることができたら…。実践校に手をあげたいものだと思う。

課題発見の好奇心は学びのエネルギー!

キーワードは「日常生活」

Part II

あれ?

新聞

買い物

遊び

生活の中に

学びのヒントが

いっぱい!

分かった! できた!

学んだことが使える!

もっといい方法がある!

「深い学び」
「生きる力」

なんで?

自分で課題発見

わくわくドキドキ 課題解決
好奇心の種を育てる水(授業)を!

新たな好奇心へ!

自分で見付けた課題は、答えを探すときにわくわくする。答えのかけらが見つかったら、もっと知りたくてドキドキする。ひとつ分かると、もっといい答えを探したくなる。

子供たちの ? (課題発見)を大切にした授業に!

全国学力・学習状況調査の結果から、授業のポイントを紹介!

中学校国語

正答率の最も低い問題の概要と結果

封筒の書き方を理解して宛名を書く

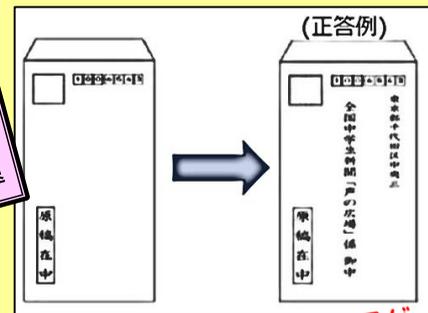
正答率 本県 54.7% 全国 56.8%

調査結果の分析

- ▲ 文字の配列や大きさに注意して、封筒の宛名を書くことができない生徒が約5割
- ▲ 条件を全て満たして宛名を書けた生徒は2割以下。

課題

全国中学生新聞を読み「声の広場」に投稿するという場面設定の下、投稿先の封筒の表下に宛名を記入させる問題

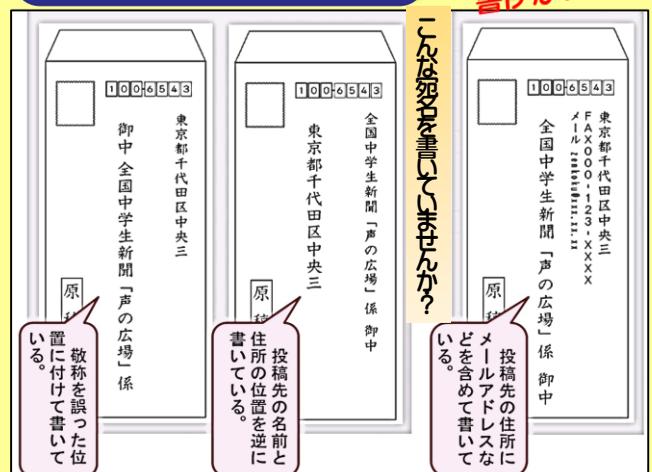


授業のポイント

- 身に付けた国語に関する知識や技能を日常生活の場で発揮できるような場面の設定。
→例えば、学校の教育活動で、手紙(お礼状)などを書かせる学習場面。
- 国語の能力(ここでは書写の力)を日常生活に生かせるところまで高めるには、単に、封筒の形式や書き方の伝達型指導だけでは不十分! 実際に書かせて、課題発見・解決する力を育成。
例えば、受取人の部分はなぜ大きく書くの? どうして中心に書くの?
→文字の大きさや配列と相手に対する敬意の表現

約4割の生徒の誤答例

封筒の宛名が書けない!!



中学校数学

正答率の最も低い問題の概要と結果

事象の数学的な解釈と問題解決の方法を説明

正答率 本県 29.4% 全国 34.7%

調査結果の分析

- ▲ 式とグラフのどちらかを選び算出方法を記述する問題の正答率は3割に満たない。
- ▲ 無解答率も10%を超える。事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題

健太さんが作った表

	冷蔵庫A	冷蔵庫B	冷蔵庫C
容量	400 L	500 L	
本体価格	80000円		
1年間あたりの電気代	15000円		

(円)

二種類の冷蔵庫について、式やグラフを用いて、総費用が等しくなる使用年数の求め方を説明する問題



授業のポイント

課題

- 問題解決の方法や手順を説明する場面を設定し、式やグラフなどの「用いるもの」と「用い方」について、指導する必要がある。
- 具体的な事象におけるグラフの傾きや交点の表す意味、式との関連を考えさせる場面を設定する。

- 日常生活や社会の事象を題材にした問題から生徒に問いをもたせ、学習課題を設定する。
- 問題文中の数量を、図や表、グラフに表したり、表やグラフの数量を読み取り、ことばや式などの数学的表現を用いて記述したり、考えを説明したりできる姿を目指す。
- 授業を振り返り、学習したことを日常生活に生かそうとしたり、発展的な課題を見付け、取り組もうとする姿を目指す。

中学校英語

正答率の最も低い問題の概要と結果

まとまりのある文章を書く

正答率 本県 1.4% 全国 1.9%

調査結果の分析

課題

- ▲ 語と語のつながりに注意して書く力に課題がある。
- ▲ 与えられたテーマについてまとまりのある文章を書く力に課題がある。
- ▲ 相手に伝わる英語で表現する力が不足している。

【A】

【B】



二種類のピクトグラムから条件に合うと思うものを選んで、その理由を英語で説明する問題

授業のポイント

- 教師の英語の質問に生徒が応答する活動などを通して、与えられたテーマについて「話す・書く」内容について生徒が表現する活動を設定する。
次に、英語表現の定着を図るため、ペアで同様の活動を行わせた後、実際に書く活動を設定する。
さらに、作成した英文の相互読みをペアで行わせ、英文の正確性を高める活動を設定する。

Our ALT is going to come to our school next week. Let's talk to him about your club. What will you tell him about your club, Yumi?

.... I kendo club.

※生徒の間違いは修正しながら

Oh, you are a member of kendo club. Where do you practice kendo? When do you practice it?

We practice it at budokan after school.

(ALTに対して、クラブ活動を紹介する生徒の作文例)
I am a member of kendo club. We practice kendo at budokan after school. We enjoy it every day. I like kendo because I can make friends through kendo.

